

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	キュービー神戸工場新築工事	階数	地上8F、塔屋1F
建設地	神戸市東灘区深江浜町27番1	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	80人
気候区分	6地域	年間使用時間	4,800時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2016年8月 竣工	評価の実施日	2016年11月1日
敷地面積	64,042 m ²	作成者	竹中工務店
建築面積	5,936 m ²	確認日	
延床面積	31,896 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 3.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 86% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 86%

④上記+: 86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 4.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 4.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 CASBEE神戸 の重要項目		
バリアフリー計画 Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 3.0	建築物の耐震性等 Q-2/2.1 耐震・免震 5.0 Q-2/2.4 信頼性 4.0	まちなみ・景観への配慮 Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 4.0
配慮の概要 一般見学者を受け入れる見学エリアを始め、敷地内、施設内に階段や段差をなく、エレベーターで全てに移動可能なルートを設置するなど、バリアフリー新築建築物移動等円滑化基準にほぼ適合した計画としている。		
配慮の概要 免震構造を採用し、建物全体の健全性を高めている。生産設備を始め、インフラの更新性やメンテナンス性を向上させるため、ほぼ全てを乾式化し、メンテナンスルートや機器の更新ルートも計画段階より想定している。また、食品工場としての性能を維持するための、室内の清掃性や埃だまりのないおさまりを追求し、食品の安全性を守る取り組みもしている。		
配慮の概要 神戸港カラー作戦に沿った、外壁色を採用し、スカイラインや周囲の景観との調和を図っている。埋立地であるため、固有の植生や生物は目立たないが、海浜地域に適した植生を、卓越風を考慮したコンセプトで想定し、ランドスケープを考慮した計画としている。		
その他の配慮事項		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される